

岩永 理恵

神奈川県立保健福祉大学 講師

社会保障制度と震災等被災者支援制度との関連・接続に関する歴史的検討——包括的な社会保障制度構築に向けて

本研究は、被災者、被災後の生活にも対応して、憲法に謳われた最低生活保障を実現する社会保障制度を検討することを目的とする。具体的には、これまで貧困、最低生活費に関する研究から生活保護制度の歴史を検証してきた成果を踏まえ、この「平常時」の制度と被災者支援制度との関連、接続を歴史的に検証することを課題とする。本研究では、(1) 文献収集 (2) 阪神・淡路大震災の被災者支援に携わる方へのヒアリング調査、(3) 情報公開請求、(4) 新聞検索によって、社会的弱者層に焦点をあてながら被災者の生活回復およびその支援施策の実態を調査し、生活保護法と災害救助法の運用の連続性と整合性に着目した分析を行なった。特に、生活の基礎となる安定した住宅を確保できないという状況は、避難者・被災者と生活困窮を抱える社会的弱者層に共通しており、今後さらに研究を進める必要があるという示唆を得た。